

Q 5. 実際にお子さんを預かりしてみて、どうでしたか？うまくいったこと、うまくいかなかったことなどを教えてください。

強さん 子どもさんとお友達になれて、楽しかったです。すぐに懐いてくれる子ばかりでした。時間があれば、問題ないです。

孝枝さん 同時に二人をみるときは、小さい子に目が行くので、大きい子の方が心配になります。ケガをしないかが一番心配です。

Q 6. どのようなことにやり甲斐を感じますか？

強さん 預かって感謝されたら、子どもが喜んでくれて懐いてくれたら、嬉しいです。必要としている人に応えられたら、やり甲斐を感じます。

孝枝さん 手助けできて、協力できて、感謝されると、預かってよかったなと思います。

Q 7. 今回、夏休み期間中のほとんどの日で、放課後児童クラブへの送りをされました。やってみてどうでしたか？長い期間で大変ではなかったですか？

強さん 長期間のときは、サポート会員で何人かのグループを作って、交代しながらできたらよいと思います。私たちは夫婦で活動したので、交代しやすかったです。

孝枝さん 預かりの時間そのものが短く、小学1年生でしたので、大変ではありませんでした。

Q 8. ファミリーサポートセンターの活動の中で、今後、やってみたいことはありますか？

孝枝さん 急遽で病院に行くときの預かりのほか、自衛隊の方などで身内が近くにいない方がいれば、上手に利用していただきたいです。

Q 9. 本市のファミリーサポートセンターでは、依頼会員34人に対して、サポート会員が15人います。今年度、4人の方が広島県子育て支援員研修を受講中で、来年3月末にはサポート会員として登録見込みです。将来的に、どのようになればよいと思いますか？

強さん 転職の方や自衛隊の方などが、気兼ねなく、頼めるシステムがあればよいと思います。サポート会員に興味を示す人もいるので、増やしていけたらなと思います。

孝枝さん 制度を知っている人もいますが、地元の人が知らなかったりします。具体的な活動事例を紹介することで、サポート会員になろうと思う人が出てくればよいです。

依頼会員 榊田里香さんのコメント

最初はどんなサポート会員の方が来られるのか不安でしたが、マッチングがあって、私も子どもも安心しました。一緒にラジオ体操をしたり、いろんなお話をしたりする中で、信頼関係ができてきたのが分かりました。今回は上の子をお願いしましたが、下の子にも優しく接してもらいました。子どもの機嫌が悪いときも、優しく声をかけていただき、放課後児童クラブへ行けるように促してくれました。私が仕事で早い時間に出なければいけなかったのが、助かりました。また、今後も利用したいと思います。



【ファミリーサポートセンターの活動】

放課後児童クラブへの送り、認定こども園のお迎え、買い物、保護者の体調不良や通院時のお子さんの預かりなどを行っています。

詳しくは、子育て支援課までお問い合わせください。☎ 0823-42-2852

ファミリーサポートセンターのサポート会員にインタビューしました

子育て支援課 ☎ 0823-42-2852

江田島市では、ファミリーサポートセンター事業を実施しています。子育ての援助をしてほしい人（依頼会員）と子育ての援助をしたい人（サポート会員）を結び付け、地域のみんなで子育てを助け合う有償ボランティア事業です。



夏休み期間中、依頼会員の榊田里香さんから「勤務時間の都合により、子どもを放課後児童クラブに送ってほしい」と要望がありました。この期間のほとんどの日で、サポート会員である国井強さん・孝枝さんご夫婦が、榊田里香さんのお子さんを放課後児童クラブまで送っていかれました。本市において、ここまでの長期間の依頼は初めてのことでした。

そこで、実際に活動された国井さんご夫婦に、これまでの活動を振り返っていただきました。

◀国井さんご夫婦 強さん⑤ 孝枝さん⑥

Q 1. どのようにしてファミリーサポートセンター事業を知りましたか？

強さん 孫が来ているときに子育て世代包括支援センターに連れて行ったときに、紹介を受けました。先に妻がサポート会員になり、その翌年、自分がサポート会員になりました。

孝枝さん 2年前に母子保健推進員になったときに、会議でサポート会員の募集を知りました。

Q 2. サポート会員になろうと思った理由、きっかけは何ですか？

強さん 自衛官をしていたときに、同僚が高いお金を支払って子どもを預けているのを見ていて、大変だなと思いました。妻の研修テキストを見て、送り迎えならできるかなと思いました。何より、子どもが好きですから。

孝枝さん 子どもからパワーをもらえるので、子どもと関わるきっかけを持ちたいと思いました。

Q 3. 既に保育などの資格や経験はありましたか？

孝枝さん 二人とも、資格や経験は、ありませんでした。私は介護の仕事を経験していますが、子どもに関するものはありませんでした。リスクで不安がよぎることがありましたが、子どもの元気な様子にそれも吹き飛ばしてもらって、楽しくなりました。

Q 4. サポート会員になるには、知識や技能の習得に当たり、広島県子育て支援員研修の受講が必要です。受講してみてもいいかでしたか？

強さん よい経験になりました。講師や受講生と話ができて、特に若い保育士の方や児童クラブの方たちが真剣でした。研修内容も勉強になりました。これまでにいろんな講習会に出てきましたが、子どもに関しては知らないことが多かったです。孫を育てる前に受講すれば役立つだろうなと思うくらいです。

孝枝さん 心肺蘇生法など、昔と違うこともありました。